

関係高等学校長 殿

福岡県高等学校商業教育研究部会長
(福岡県立小倉商業高等学校長)
第3分科会(マネジメント)会長
(福岡県立若松商業高等学校長)

第71回全国高等学校ビジネス計算競技大会 兼 第76回全九州高等学校ビジネス計算競技大会福岡県予選の開催について

陽春の候、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。
平素から、当研究部会の運営につきましては、格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、標記の大会を下記のとおり開催いたしますので、選手の御参加をいただきますよう御案内申し上げます。

記

- 1 日 時 令和6年6月2日(日)
午前 9時20分 受付開始
10時00分 大会役員打合せ会
10時30分 開会式
※大会終了後、全国大会代表選手の種目別出場決定戦を行います。
- 2 場 所 リーパスプラザこが(古賀市生涯学習センター)大会議室
福岡県古賀市中央2丁目13番1号
TEL 092-944-1931
- 3 参加人数 制限なし
- 4 競技内容 別紙大会規定参照
(1) 団体・個人総合競技(全国予選・全九州予選とも同一問題にて競技を行います。)
全国高等学校ビジネス計算競技大会に準拠
ア 普通計算 制限時間(一括) **珠算競技12分 電卓競技6分**
乗算 10題・除算 10題・見取算 10題
※電卓競技は、珠算競技の普通計算開始の合図から6分後に開始する。
イ 応用計算 15題 制限時間 **珠算競技・電卓競技共15分**
(2) 種目別競技(県代表権に関係のない競技です。)
ウ 読上暗算(珠算競技のみ)
エ 応用計算(珠算競技・電卓競技)
オ 読上算(珠算競技・電卓競技)
※本年度の福岡県代表選手は、
全国大会…(珠算競技・電卓競技)団体1校3名・個人2名 計5名
ただし、団体優勝校は個人出場と兼ねることができないため、同一校から上限3名のみの出場となります。
全九州大会…(珠算競技)団体1校3名・個人10名 計13名
(電卓競技)団体1校3名・個人4名 計7名
珠算競技・電卓競技ともに、同一校で3名以上出場する場合は団体出場が可能となります。
- 5 申込締切 令和6年5月17日(金) 必着
※間に合わない場合は先にメールまたはFAXをお願いします。
- 6 申込先 福岡県高等学校商業教育研究部会 第3分科会事務局
〒808-0106 北九州市若松区片山三丁目2番1号
福岡県立若松商業高等学校 奥村 博文
Mail okumura@fku.ed.jp
TEL 093-791-0700(学校専用)
FAX 093-791-5665(部会専用)
- 7 その他 (1) 昼食は各自で御用意ください。
(2) 御不明な点がありましたら事務局に御連絡ください。

全国高等学校ビジネス計算競技大会 兼
全九州高等学校ビジネス計算競技大会 福岡県予選大会規定 (案) (令和6年度適用)

波線は本年度からの変更点です。

1. 期 日 6月第1日曜日とする。
2. 参加資格 福岡県高等学校商業教育研究部会会員校の生徒に限る。
(会員校は学校を単位とみて商業系生徒でなくてもよい。)
3. 参加人数 制限なし。
4. 競技規定

I. 【珠算の部】

全国高等学校ビジネス計算競技大会規定に準拠する。

(1) 競技の種類

- ア. 団体・個人総合競技
- イ. 種目別競技 (読上暗算・応用計算・読上算)

(2) 総合競技の問題内容及び配点

全国高等学校ビジネス計算競技大会規定に準拠する内容で、次のとおりとする。

- ア. 普通計算 乗算 10題 (満点100点)
除算 10題 (満点100点)
見取算 10題 (満点100点) 制限時間一括12分
- イ. 応用計算 15題 (満点300点) 制限時間 15分

(3) 種目別競技の問題程度及び内容

ア. 読上暗算競技 (全国高等学校ビジネス計算競技大会規定に準拠する)

- 予選 2桁以上4桁以内15口以内の加算及び加減算3題で、2題以上の正答者を予選通過者とする。ただし、2題以上の正答者が6名に満たない場合は、1題の正答者を予選通過者とする。
- 決勝 2桁以上15口以内の加算及び加減算で、1題毎に勝ち残り方法で競技を行う。

イ. 応用計算競技 (全国高等学校ビジネス計算競技大会規定に準拠する)

- 予選 3題中2題以上の正答者を予選通過者とする。ただし、2題以上の正答者が6名に満たない場合は、1題の正答者を予選通過者とする。
- 決勝 1題毎に勝ち残り方法で競技を行う。状況によって、計算速度の順をつける。その場合、計算が終了した選手は挙手をすることができる。ただし、挙手後は計算できない。正答の場合、計算速度の順位が早い選手が上位となる。

ウ. 読上算競技 (全国高等学校ビジネス計算競技大会規定に準拠する)

- 予選 5桁以上10桁以内15口以内の加算及び加減算3題で、2題以上の正答者を予選通過者とする。ただし、2題以上の正答者が6名に満たない場合は、1題の正答者を予選通過者とする。
- 決勝 5桁以上15口以内の加算及び加減算で、1題毎に勝ち残り方法で競技を行う。

(4) 順位・表彰

ア. 団体総合競技

同一校より3名以上の選手が出場している場合に限り、得点上位3名の合計点により、優勝1校・2位1校・3位1校の合計3校を表彰する。

※ 同点の場合は、応用計算得点合計が高い団体を上位とする。

応用計算得点合計も同じ場合は同位とする。ただし、順位決定が必要な場合（3位決定等）は同点決勝を行う。

なお、優勝決定については、応用計算の得点にかかわらず、同点決勝を行う。

イ. 個人総合競技

優勝1名・2位～10位まで各1名・優秀賞3名の合計13名を表彰する。

※ 同点の場合は、応用計算得点が高い方を上位とする。

応用計算得点も同じ場合は同位とする。ただし、順位決定が必要な場合（10位決定、優秀賞3人目の決定、団体3人目の決定、代表選手決定等）は同点決勝を行う。

なお、優勝決定については、応用計算の得点にかかわらず、同点決勝を行う。

ウ. 同点決勝の実施要領

○ 問題 乗算・除算・見取算・応用計算の各2題の合計8題を一括し、原則として制限時間5分で競技を行う。速度順位をつけ、順位決定後は計算できない。なお、配点は総合競技に準ずる。

○ 判定 得点の上位の選手を優位とする。同点の場合は、応用計算得点が高い方を上位とする。応用計算得点も同じだった場合は速度順位で決定する。なお、全問解答しないで速度順位をつけた選手の得点は有効であるが、速度順位は競技者の最下位とする。ただし、2回目以降の同点決勝においては、全問解答せずとも速度順位で判定を行う。

エ. 種目別競技（読上暗算・応用計算・読上算）

優勝1名，2位2名，3位3名を原則，各々表彰する。

II. 【電卓の部】

全国高等学校ビジネス計算競技大会規定に準拠する。

(1) 競技の種類

ア. 団体・個人総合競技

イ. 種目別競技（応用計算・読上算）

(2) 総合競技の問題内容及び配点

全国高等学校ビジネス計算競技大会規定に準拠する内容で、次のとおりとする。

ア. 普通計算	乗算	10題	(満点100点)		
	除算	10題	(満点100点)		
	見取算	10題	(満点100点)	制限時間一括	6分
イ. 応用計算		15題	(満点300点)	制限時間	15分

(3) 種目別競技の問題程度及び内容

ア. 応用計算競技（全国高等学校ビジネス計算競技大会規定に準拠する）

- 予 選 3題中2題以上の正答者を予選通過者とする。ただし、2題以上の正答者が6名に満たない場合は、1題の正答者を予選通過者とする。
- 決 勝 1題毎に勝ち残り方法で競技を行う。状況によって、計算速度の順をつける。その場合、計算が終了した選手は挙手をすることができる。ただし、挙手後は計算できない。正答の場合、計算速度の順位が速い選手が上位となる。

イ. 読上算競技（全国高等学校ビジネス計算競技大会規定に準拠する）

- 予 選 5桁以上10桁以内15口以内の加算及び加減算3題で、2題以上の正答者を予選通過者とする。ただし、2題以上の正答者が6名に満たない場合は、1題の正答者を予選通過者とする。
- 決 勝 5桁以上15口以内の加算及び加減算で、1題毎に勝ち残り方法で競技を行う。

(4) 順位・表彰

ア. 団体総合競技

同一校より3名以上の選手が出場している場合に限り、得点上位3名の合計点により、優勝1校・2位1校・3位1校の合計3校を表彰する。

※ 同点の場合は、応用計算得点合計が高い団体を上位とする。

応用計算得点合計も同じ場合は同位とする。ただし、順位決定が必要な場合（3位決定等）は同点決勝を行う。

なお、優勝決定については、応用計算の得点にかかわらず、同点決勝を行う。

イ. 個人総合競技

優勝1名・2位～7位まで各1名・優秀賞3名の合計10名を表彰する。

※ 同点の場合は、応用計算得点が高い方を上位とする。

応用計算得点も同じ場合は同位とする。ただし、順位決定が必要な場合（7位決定、優秀賞3人目の決定、団体3人目の決定、代表選手決定等）は同点決勝を行う。

なお、優勝決定については、応用計算の得点にかかわらず、同点決勝を行う。

ウ. 同点決勝の実施要領

- 問 題 乗算・除算・見取算・応用計算の各2題の合計8題を一括し、原則として制限時間4分で競技を行う。速度順位をつけ、順位決定後は計算できない。なお、配点は総合競技に準ずる。
- 判 定 得点の上位の選手を優位とする。同点の場合は、応用計算得点が高い方を上位とする。応用計算得点も同じだった場合は速度順位で決定する。なお、全問解答しないで速度順位をつけた選手の得点は有効であるが、速度順位は競技者の最下位とする。ただし、2回目以降の同点決勝においては、全問解答せずとも速度順位で判定を行う。

エ. 種目別競技（応用計算・読上算）

優勝1名、2位2名、3位3名を原則、各々表彰する。

(5) 使用する電卓について

机上に置く電卓は1台とする。

電源コード機能があるものは不可とする。

プリンタ機能があるものは不可とする。

パソコン等、外部機器と接続することは不可とする。

5. 県代表選手の選出について

(1) 全国大会の県代表選手について

- ① 全国商業高等学校協会会員校の生徒に限る。(学校が加盟していれば商業系生徒でなくてもよい。)
- ② 珠算の部・電卓の部ともに、総合競技得点の上位より、団体優勝チーム(3名×1=3名)を県代表として選出する。
- ③ 個人の代表選手(珠算2名、電卓2名)については、団体優勝チーム以外の学校より、参加標準得点(珠算の部250点、電卓の部300点)に到達している選手の中から得点上位者を選出する。
※ 団体優勝校は個人出場と兼ねることができないため、同一校から上限3名の出場となる。
- ④ 種目別競技の出場選手数は全国大会規定により、次のとおり決定する。
ア. 珠算の部の競技種目は、応用計算・読上暗算・読上算とする。電卓の部の競技種目は応用計算・読上算とする。
イ. 一人につき2種目出場できる。(したがって、電卓の部の選手は全員、応用計算・読上算に出場となる。)
珠算の部の選手は各種目において、最大4名までしか出場できない。
ウ. 出場種目の決定は各選手の希望による。ただし、種目別競技において入賞した選手の希望を優先する。それでもなお決まらない場合は、競技大会終了後、決定戦を行う。

(2) 九州大会の県代表選手について

- ① 九州地区商業高等学校長会加盟校の生徒に限る。(学校が加盟していれば商業系生徒でなくてもよい。)
- ② 総合競技得点の上位より、珠算の部・電卓の部ともに、団体優勝チーム(3名×1=3名)を県代表として選出する。
- ③ 個人の代表選手(珠算10名、電卓4名)については、団体優勝チーム以外の学校より、参加標準得点(珠算の部250点、電卓の部300点)に到達している選手の中から得点上位者を選出する。
- ④ 団体優勝チームでなくても、個人で3名以上選出されている場合は団体競技への出場が認められる。

*付 則 (令和2年度より記入)

令和2年度より、全国大会の県代表選手の人数を変更。(珠算・電卓)

令和4年度より、同点決勝の2回目以降の実施方法を変更。(珠算・電卓)

令和6年度より、個人総合競技の入賞者数を変更。(珠算・電卓)

種目別競技の入賞者数に「原則」を追加。(珠算・電卓)

九州大会の県代表選手の人数を変更。(珠算・電卓)

全国大会および九州大会の県代表選手の選出について、参加標準得点の項目を追加。(珠算・電卓)

第71回全国高等学校ビジネス計算競技大会 兼
 第76回全九州高等学校ビジネス計算競技大会福岡県予選
 参 加 申 込 書

学 校 名	
校 長 名	印
引率者氏名	

珠算の部			電卓の部		
	ふりがな 選手氏名	学年		ふりがな 選手氏名	学年
1			1		
2			2		
3			3		
4			4		
5			5		
6			6		
7			7		
8			8		
9			9		
10			10		

※10名を超える場合は、用紙を複写してお使いください。

申込書は5月17日（金）までに下記へお願いします。
 〒808-0106 北九州市若松区片山三丁目2番1号
 福岡県立若松商業高等学校内 福岡県高等学校商業教育研究部会
 第3分科会事務局 奥村 博文
 TEL 093-791-0700（学校） FAX 093-791-5665（部会）